

## つくば常民大学6月(第33回)

講師：村上啓子氏（広島・被爆者）

題目：「ヒロシマからの伝言 ー世界平和への願いをこめてー」

日時：2024年6月20日（木）午後1時～3時半

場所：つくば市二の宮交流センター

※ 参加自由・要資料（コピー）代

1945年8月6日8時15分、人類史上初の原子爆弾が広島市上空600mで炸裂。爆心から1.7キロの自宅にいた父（義勇隊事務局長）母（主婦）弟（2歳）妹（生後57日目）と私（8歳）の家族5人は、奇跡的に死を免れました。両親と妹は被災者収容所へ、弟と私は中国山地の父の実家に引き取られました。8月15日敗戦。国民学校3年生の私は「防空壕に入らなくていい」「空襲警報は鳴らない」と喜びましたが、やがてヤングケアラーの暮らしが始まりました。その後の身の上は、講座の日に話します。

1947年5月3日、日本国憲法施行。「天皇制から民主主義に」「基本的人権・男女同権」「第九条（戦争放棄）」、教師は涙ながらに解説、児童も大泣きしつつ学びました。あの感動は生涯忘れることはないでしょう。

間もなく広島・長崎に原子爆弾が投下されて79年。平和実現を誓ったのは空手形、人類は歴史から学ぶことを手放したのでしょうか。天災・人災の絶えない今日、自信をもって次世代に渡せるものは何だろうかと迷います。戦時体験者の力不足かとも自問自答しています。

「青い地球は誰のもの」YouTubeを検索してください。ぜひ、ぜひ。



広島市平和記念資料館・提供